

# 性別にとらわれず 誰もが能力を発揮できる 社会に向けて

女性や女兒のエンパワメントを推進し、

人々の意識・行動を変えることで、

ジェンダー平等で公正な社会の

実現を目指します。

社会や組織における  
差別的な制度や仕組みを是正し、  
女性や女兒の主体的な能力を  
強化するとともに、社会や人々の  
意識や行動の変容を促進する  
取り組みを実施します。  
それにより、一人ひとりが  
性別にとらわれることなく、  
人間としての尊厳をもって、  
それぞれの能力を発揮できる  
社会の実現に貢献します。



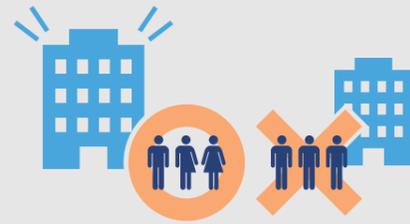
## ジェンダー平等は、人権と人間の安全保障の概念に密接に結びついた普遍的な価値です

ジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進することは、公正で持続可能な社会の実現に向けて取り組むべき重要な課題です。一人ひとりの人間を中心に据え、すべての人々の尊厳や人権を保障するとともに、主体的な選択や行動に向けた能力強化を促す「人間の安全保障」の理念の具体化につながるものです。

## 女性の経済参画の拡大は、経済成長への大きな鍵です

依然として多くの国・社会で、女性の経済参画やその機会が阻害されています。しかし、それらを男性と同等レベルに拡大すれば、GDPは10年で26%（28兆ドル）も増加すると言われています。また、経営層においてジェンダー平等と多様性を推進した企業は、その努力をしなかった企業よりも10～15%成長率が高いという調査結果も出ています。

女性の経済参画を男性と同等レベルにすると  
GDPが26%増加する



経営層においてジェンダー平等と多様性を推進した企業はしていない企業よりも成長率が10～15%高い

世界の女性の3分の1以上が生涯のうちに身体的または性的暴力を経験



## 女性への暴力は、社会や経済の多大な損失につながっています

社会や経済における女性の役割や貢献への認識は高まってきていますが、その一方で、いまださまざまな側面でジェンダーに基づく差別が存在し、多くの女性や女兒がジェンダーに基づく暴力を受けています。世界の女性の3分の1以上が、生涯の中で身体的・性的暴力を経験しており、女性に対する暴力によって生じる社会や経済の損失は、年間で世界のGDPの2%近く（1.5兆ドル）相当にも上ります。

## 日本とJICAは、なぜ取り組むのですか？

## ジェンダー格差を克服した国はいまだ存在せず、各国が連携を強化して取り組むべき課題です

日本を含め、世界でジェンダー格差を克服した国はいまだ存在しません。だからこそ各国が相互の連携を強化し、ジェンダー平等を実現するための協力を共に推進していく必要があるのです。

ジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進は、あらゆる分野に関わる横断的事項であり、その実現には、さまざまな場面でジェンダーの視点に立った取り組みを推進していくことが重要です。その取り組みに際しては、「3つの視点」を踏まえることが必要とされています。第一に、政策・制度の整備や組織の変革、第二に、女性や女兒の実現能力の強化、そして第三に、男性を優位とする社会規範や人々の意識・行動の変容が必要とされます。



## 5つの優先課題で「ジェンダー主流化」を推進

ジェンダー平等と女性のエンパワメントの実現には、さまざまな分野における政策や事業の立案・実施・モニタリング・評価時において、ジェンダーの視点に立った取り組みを進める「ジェンダー主流化」の推進が必要です。

JICAは5つの優先課題を設定し、いずれの課題においても、女性や女兒を取り巻く課題を分析した上で、女性や女兒の実現能力の強化、制度や仕組みの変革、人々の意識・行動の変容に向けて、効果的な取り組みを行っていきます。

## 5つの優先課題

- ① 女性の経済的エンパワメントの推進
- ② 女性の平和と安全の保障
- ③ 女性の教育と生涯にわたる健康の推進
- ④ ジェンダー平等なガバナンスの推進
- ⑤ 女性の生活向上に向けた基幹インフラの整備

女性の経済的エンパワメントの推進

女性の平和と安全の保障

女性の教育と生涯にわたる健康の推進

ジェンダー平等なガバナンスの推進

女性の生活向上に向けた基幹インフラ整備

ジェンダースマートビジネス(GSB\*)の振興  
\*Gender Smart Businessジェンダーに基づく暴力(SGBV\*)の撤廃  
\*Sexual and Gender Based Violence

## ジェンダースマートビジネス(GSB)の振興

GSBの振興とは、ジェンダー平等と多様性を重んじる組織文化を醸成し、良質・適正価格・利便性の高い“女性フレンドリー”な製品・サービスが市場から提供されることを促進することです。女性の登用・経済参画は、新たな市場機会の創出とビジネスパフォーマンスの向上にもつながります。JICAは、GSBの振興に貢献するために、関連する政策・制度の整備支援、資金調達、人材育成などを行い、女性の起業やリーダーシップ、就労の促進と、インフォーマルビジネスを含む市場の拡大や課題解決を図ります。

## ジェンダーに基づく暴力(SGBV)の撤廃

SGBVを撤廃するためには、ジェンダーに基づく差別や社会規範、固定的な性別役割を解消し、SGBVを生み出さない社会づくりに取り組むことが必要です。また、加害者が適切に処罰される環境整備や、被害を受けた人々が安全に保護され、その後の生活を再建できるような支援や仕組みづくりが必要です。JICAは、SGBVの撤廃に向けて、関連する政策・制度の整備や人材育成、地域社会における啓発や教育を行い、被害当事者に対する支援とあらゆるSGBVを容認しない社会づくりを推進します。

## 1 パキスタンでデジタルの活用を通じた生計向上を支援

パキスタン・シンド州には、「見えざる労働者」と言われる家内労働の女性が多くいます。彼女たちは主に手工芸品などの生産と販売を行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、多くのマーケットが閉鎖してしまいました。

そこでJICAでは、女性たちがインターネットを通じて商品を販売できるよう、デジタルマーケティングやSNSの活用方法についての研修を行い、女性たちの経済的な自立を促進する協力を行っています。



スマートフォンを活用して手工芸品のマーケティングを行う女性たち



11月25日の女性に対する暴力撤廃の国際デーの記念イベント

## 2 南スーダンで暴力被害者の保護や自立・社会復帰を支援

南スーダンでは、紛争影響下における性暴力や、配偶者やパートナーによる暴力、婚資を目的とする児童婚といった、さまざまなジェンダーに基づく暴力（SGBV）が深刻な問題となっています。同国の女性人口の65%がSGBVを被った経験があるという統計もあります。

JICAは、SGBV被害を受けた女性たちの保護や自立・社会復帰を進めるための政府の能力強化や関係者間の連携を促進する協力を行っています。

### パートナーとの協働

#### 国内外の連携を強化し、よりインパクトのある成果を目指します

ジェンダー平等と女性のエンパワメントの推進に取り組む国内外の組織や有識者、民間、市民社会などとの連携やネットワークを構築・強化し、その相乗効果を通じて、よりインパクトのある成果を目指します。GSBの振興については、

国際機関や国際プラットフォームのほか、民間の金融機関、保険会社、企業等との連携を、またSGBVの撤廃については、日本国内で支援に携わる行政や草の根の女性団体、民間とのネットワークを強化しつつ、取り組んでいきます。



独立行政法人  
国際協力機構

〒102-8012  
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
TEL: 03-5226-6660~6663 (代表)  
Eメール: jicagp@jica.go.jp

独立行政法人国際協力機構（JICA／ジャイカ<sup>(注)</sup>）は、日本の政府開発援助のうち、二国間援助の実施を一元的に担う国際協力機関です。世界の約150か国・地域へ協力しています（注）JICA／ジャイカはJapan International Cooperation Agencyの略称です。



#### JICA グローバル・アジェンダとは

2030年のSDGs達成への貢献や、「人間の安全保障」「質の高い成長」「地球規模課題への取組」といった、日本が開発協力で目指す理念の実現のために、JICAが掲げる20の課題別事業戦略。課題の分析に基づいたグローバルな目標を掲げ、その達成に向けて開発協力事業の成果を上げるべく取り組みます。さらに、途上国はもちろん国内外のさまざまなパートナーとの対話と協働を促進し、開発協力の成果の拡大を目指します。